

令和4年9月16日
中国地方整備局
広島地方気象台

合同記者会見の開催について

～台風第14号について～

台風第14号の中国地方における影響と今後の見通しに関しまして、合同記者会見を開催します。急な連絡で申し訳ございませんが、ご参加いただきますようよろしくお願いいたします。

1. 開催日時

令和4年9月17日（土）14時30分～（30分程度）

2. 開催場所

広島市中区上八丁堀6-30

広島合同庁舎4号館14階 気象台防災連絡室

※合同庁舎入館時の注意事項

合同庁舎へ入館する際、警備室から身分証明書の提示を求められることがあります。

開催場所及びトイレ等の共用部分以外への立ち入りは禁止です。

3. 会見者

中国地方整備局	河川調査官	西 博之（にし ひろゆき）
中国地方整備局	道路情報管理官	山田 明（やまだ あきら）
中国地方整備局	港湾危機管理官	菅 高德（すが たかのり）
広島地方気象台	気象防災情報調整官	前川 和宏（まえがわ かずひろ）

4. 開催方式

新型コロナウイルス感染症対策の観点から Teams を併用した記者会見とします。

※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策のため、取材希望者が多数となる場合は、各社の参加人数を制限させていただく場合がありますので予めご了承ください。

※この Teams による記者会見の URL 等は、報道関係の聴講希望者へ後ほど中国地方整備局からメールによりお知らせします。

※合同記者会見終了後、中国地方整備局の公式 Youtube チャンネルにも Teams の配信をアップロードします。

お知らせ

【問合せ先】

(気象に関すること)

気象庁 広島地方気象台 気象防災情報調整官 まえがわ 前川 かずひろ 和宏
広域防災管理官 こばやし 小林 かずき 和樹

電話 082-223-3962 (本日限りの対応となります)

(河川に関すること)

国土交通省 中国地方整備局 河川部
河川調査官 にし 西 ひろゆき 博之 (内線 3513)
河川計画課長 おおやま 大山 りく 璃久 (内線 3611)

電話 082-221-9231 (代表) (直通 082-511-6231)

(道路に関すること)

国土交通省 中国地方整備局 道路部
道路管理課長 やまもと 山本 たかゆき 孝行 (内線 4411)
道路管理課長補佐 まえだ 前田 たかひろ 孝弘 (内線 4412)

電話 082-221-9231 (代表) (直通 082-511-6322)

(港湾に関すること)

国土交通省 中国地方整備局 港湾空港部
港湾危機管理官 すが 菅 たかのり 高德 (内線 62230)

電話 082-511-3900 (代表) (直通 082-511-3904)

(会見に関すること)

国土交通省 中国地方整備局 統括防災官室
総括防災調整官 かだ 加田 あつみ 厚 (内線 2119)
防災室長 おおびつ 大櫃 たけし 剛 (内線 2151)

電話 082-221-9231 (代表) (直通 082-511-6490)

合同記者会見 ～台風第14号について～

令和4年9月17日

中国地方整備局
広島地方気象台



国土を**整**え、全力で**備**える
国土交通省
中国地方整備局



気象庁
広島地方気象台

台風第14号説明会資料



令和4年9月17日(土曜日)

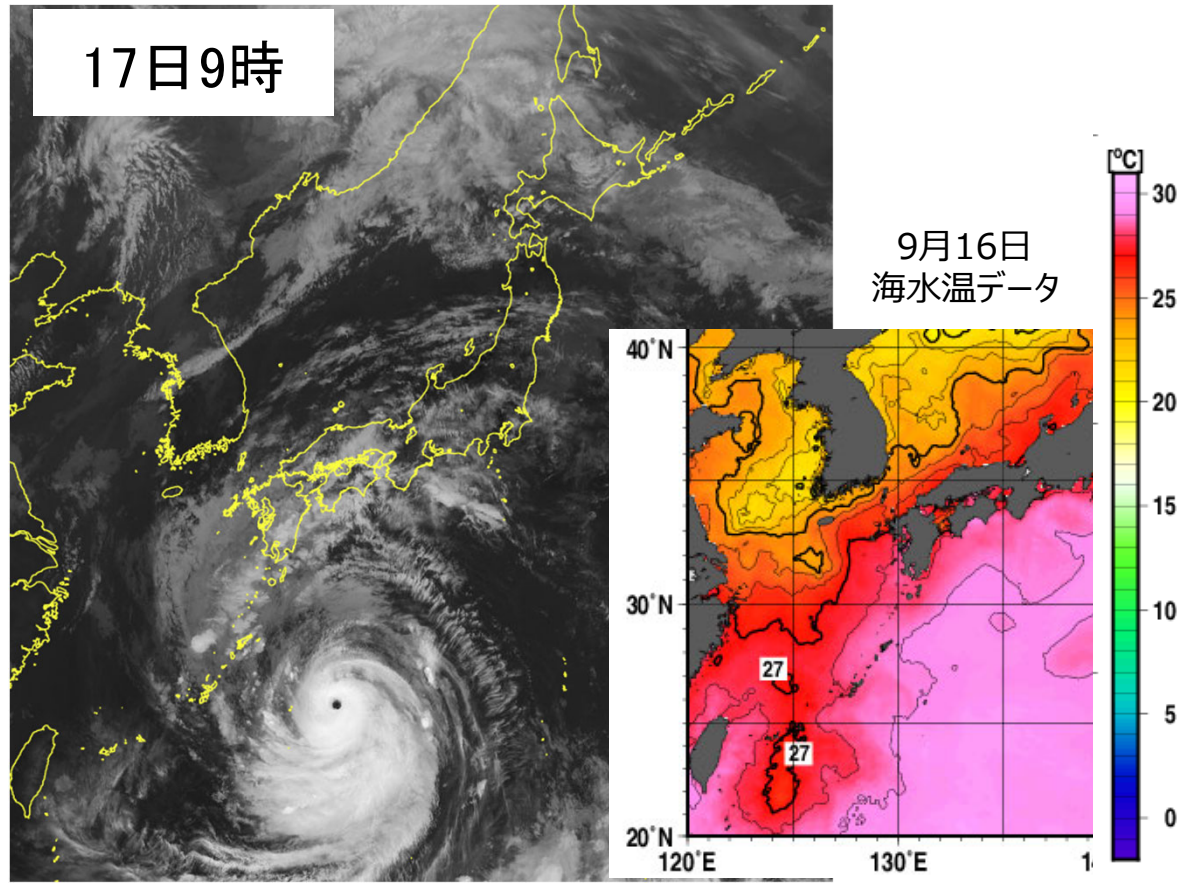
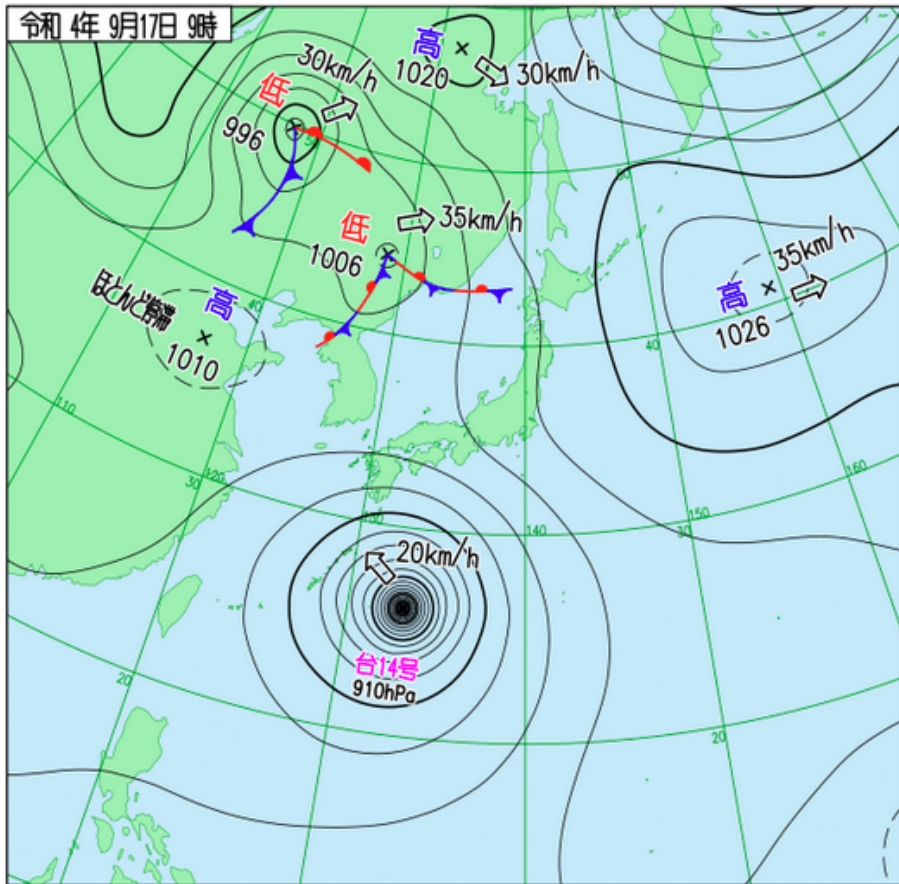
広島地方気象台

気象実況

9月17日
12時時点の資料

地上天気図 令和4年9月17日09時

気象衛星（赤外画像）



- 中国地方は台風周辺の暖かく湿った空気が流入して曇り、所々で雨が降っています。
- 日本の南には、9時現在で中心気圧910hPaの猛烈な台風第14号があって勢力を維持して北上しています。台風は眼が確認できるなど発達しており、最盛期にあります。

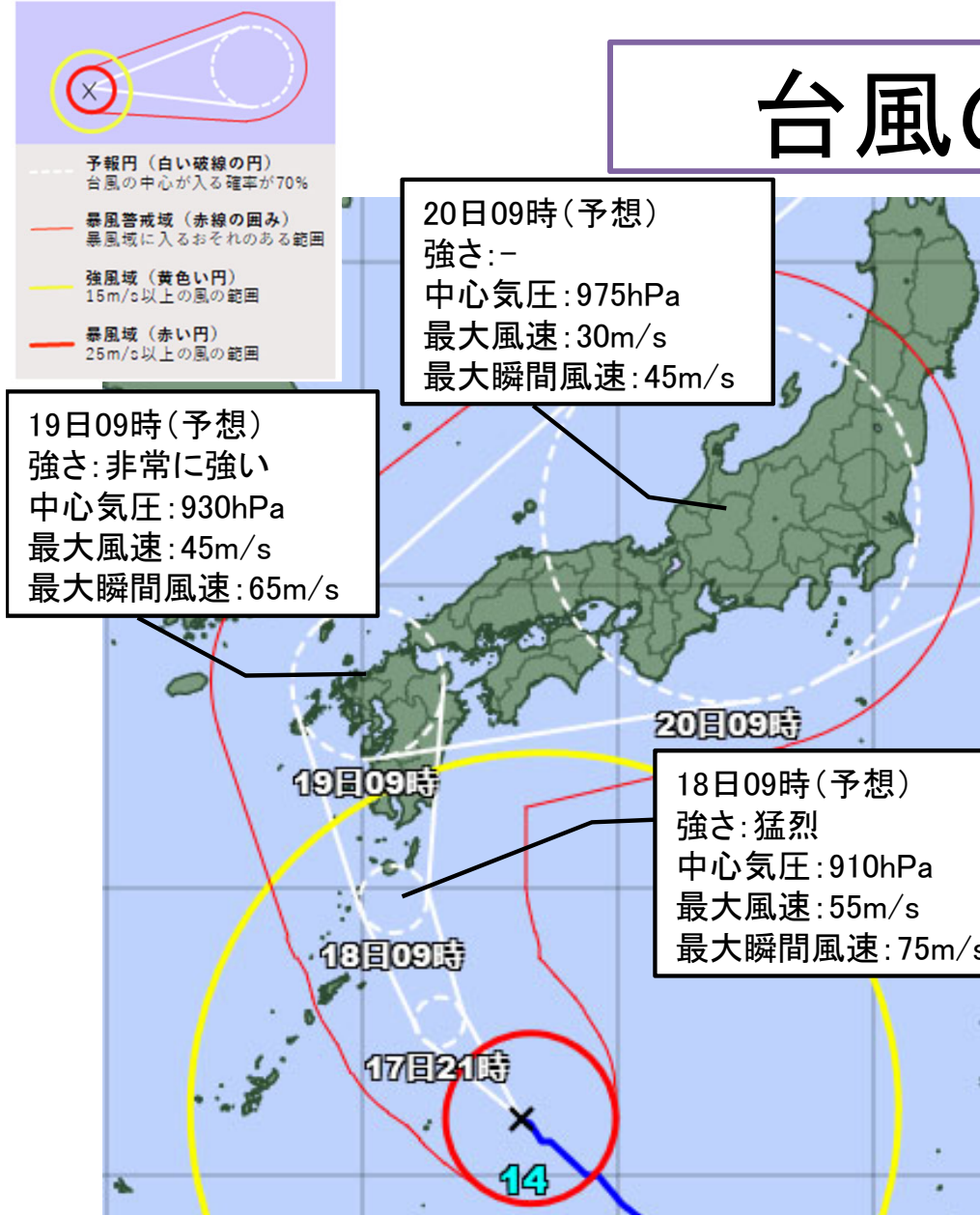
今後の予想を含めた最新の情報は気象台が発表した気象情報をご利用ください。

(天気図: https://www.jma.go.jp/bosai/weather_map/)

(雨雲の動き(高解像度降水ナウキャスト): <https://www.jma.go.jp/bosai/nawc/>)

(衛星画像: <https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#5/&elem=ir&contents=himawari>)

台風の見通し



大型で猛烈な台風第14号は、17日9時には南大東島の東約190キロにあって、1時間におよそ20キロの速さで北西へ進んでいます。中心の気圧は910ヘクトパスカル、中心付近の最大風速は55メートル、最大瞬間風速は75メートルで、中心の東側185キロ以内と西側150キロ以内では風速25メートル以上の暴風となっています。

台風は特別警報級の勢力を維持して九州南部付近に接近し、その後九州付近を北上しながら次第に東よりに進路を変え、西日本を横断する予想です。

中国地方には、19日昼過ぎから夜遅くにかけて非常に強い勢力で接近し、台風の動きが比較的遅いため、影響が長く続く可能性があります。

台風経路図(17日9時発表)

台風予報

今後の予想を含めた最新の情報は気象台が発表した気象情報をご利用ください。

(台風情報: <https://www.jma.go.jp/jp/typh/>)

今後の気象状況

9月17日
12時時点の資料

【広島県への影響】（予報円の中心付近を通った場合）

		17日						18日						19日							
		6-9時	9-12時	12-15時	15-18時	18-21時	21-24時	0-3時	3-6時	6-9時	9-12時	12-15時	15-18時	18-21時	21-24時	0-6時	6-12時	12-18時	18-24時		
		朝	昼前	昼過ぎ	夕方	夜の はじめ頃	夜遅く	未明	明け方	朝	昼前	昼過ぎ	夕方	夜の はじめ頃	夜遅く						
台風最接近																		最接近	最接近		
大雨(浸水)・洪水 (ミリ)	南部													40	40						
	北部													40	40						
大雨(土砂)	南部													注	注						
	北部													注	注						
風 (メートル)	南部	陸上						12	12	12	12	12	12	15	15	18	18				
		海上							15	15	15	15	15	15	18	18	23	23			
	北部							12	12	12	12	12	12	15	15	18	18				
波 (メートル)	南部							1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	2	2	2	2				
雷	南部			注	注	注	注						注	注	注	注	注				
	北部			注	注	注	注						注	注	注	注	注				
高潮 (メートル)	南部																				

■ 警報級 ■ 注意報級

・1時間降水量

	17日	18日
南部	15ミリ	40ミリ
北部	15ミリ	40ミリ

・24時間降水量（17日12時～18日12時）

南部	30ミリ
北部	30ミリ

・24時間降水量（18日12時～19日12時）

南部	200から300ミリ
北部	200から300ミリ

19日の各地の満潮時刻（午前の満潮）

広島	01時55分	標高 68cm
呉	01時58分	標高 65cm
竹原	02時37分	標高 51cm
糸崎	03時11分	標高 60cm

・風

	17日	18日	19日
南部 陸上	12メートル	18メートル	25～29メートル（最大瞬間風速：35～45メートル）
海上	15メートル	23メートル	30～40メートル（最大瞬間風速：40～60メートル）
北部	12メートル	18メートル	20～24メートル（最大瞬間風速：30～40メートル）

19日の各地の満潮時刻（午後の満潮）

広島	17時41分	標高 102cm
呉	17時43分	標高 100cm
竹原	17時58分	標高 94cm
糸崎	18時24分	標高 107cm

・波

	17日	18日	19日
南部	1.5メートル	2メートル	3メートル



Japan
Meteorological
Agency

【大型で猛烈な台風第14号は、特別警報級の勢力で九州を北上したのち、次第に東よりに進路を変え、19日は西日本付近を横断する見込み。広島県には19日昼過ぎから夜遅くに最も接近する見込みで、広島県に上陸する可能性もあります。】

- 広島県では、台風の北上と共に台風周辺の暖かく湿った空気が流れ込み、台風接近前から発達した雨雲が流れ込む見込み。また、**台風最接近時には台風本体の発達した雨雲がかかって雨が強まり、かつ台風の進行速度が比較的遅いことにより雨が長時間降り続き、19日を中心に警報級の大雨となる見込み。土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水や氾濫に警戒。**
- 広島県では、19日は暴風域に入り、猛烈な風が吹いて海上では波が高くなる見込み。**暴風に厳重に警戒**し、高波に警戒。
- 台風接近による影響で潮位が高くなり、高潮の発生するおそれがある。19日は満潮時刻を中心に高潮に十分注意。
- 18日から19日頃にかけて、落雷や竜巻などの激しい突風に注意。発達した積乱雲の近づく兆しがある場合には、建物内に移動するなど安全確保に努めてください。
- 気象台等が発表する地域に応じた詳細な情報を確認するとともに、自分の命、大切な人の命を守るために、地元自治体が発令する避難指示（警戒レベル4）等に従って早め早めに身の安全を確保してください。

※気象台が発表する警報、注意報、気象情報のほか、台風の進路予想や土砂災害、浸水害、洪水害のキキクル(危険度分布)を「気象台ホームページ」等で適宜ご確認ください。お住まいの場所が安全な場所か否かハザードマップなどで改めて確認し、安全ならば自宅内での安全確保を、危険な場合は指定された避難場所への移動のほか、安全な親戚・知人宅等への移動も考えてください。新型コロナウイルス感染の懸念もありますが、危険な場所にいる人は自宅の外への避難をためらわないでください。

今後の気象状況

9月17日
12時時点の資料

【中国地方への影響】（予報円の中心付近を通った場合）

	17日					18日					19日							
	9-12時	12-15時	15-18時	18-21時	21-24時	0-3時	3-6時	6-9時	9-12時	12-15時	15-18時	18-21時	21-24時	0-6時	6-12時	12-18時	18-24時	
	昼前	昼過ぎ	夕方	夜の はじめ頃	夜遅く	未明	明け方	朝	昼前	昼過ぎ	夕方	夜の はじめ頃	夜遅く					
台風最接近 赤：暴風域 黄：強風域																最接近	最接近	
大雨(浸水) ・洪水	山陽											40	40					
	山陰																	
大雨(土砂)	山陽											注	注					
	山陰												注					
雷	山陽		注	注	注				注	注	注	注	注					
	山陰		注	注	注				注	注	注	注	注					
風 (メートル)	山陽	陸上				12	12	12	12	12	15	15	18	18				
		海上				15	15	15	15	15	20	20	23	23				
	山陰	陸上				12	12	12	12	12	15	15	18	18				
		海上				15	15	15	15	15	20	20	23	23				
波 (メートル)	山陽				1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	2	2	2	2					
	山陰								3	3	3	3	4					
高潮 (メートル)	山陽																	
	山陰																	

警報級 注意報級

・1時間降水量

	17日	18日
山陽	15ミリ	40ミリ
山陰	15ミリ	40ミリ

・24時間降水量 (17日12時～18日12時)

山陽	30ミリ
山陰	30ミリ

・24時間降水量 (18日12時～19日12時)

山陽	200から300ミリ
山陰	200から300ミリ

・風

	17日	18日	19日
山陽 陸上	12メートル	18メートル	25～29メートル (最大瞬間風速：35～45メートル)
山陽 海上	15メートル	23メートル	30～40メートル (最大瞬間風速：40～60メートル)
山陰 陸上	8メートル	18メートル	25～29メートル (最大瞬間風速：35～45メートル)
山陰 海上	10メートル	23メートル	30～40メートル (最大瞬間風速：40～60メートル)

・波

	17日	18日	19日
山陽	1.5メートル	2メートル	3メートル
山陰	1.5メートル	4メートル	8メートル

今後の気象状況

9月17日
12時時点の資料

【山口県への影響】（予報円の中心付近を通った場合）

		17日				18日								19日				
		12-15時	15-18時	18-21時	21-24時	0-3時	3-6時	6-9時	9-12時	12-15時	15-18時	18-21時	21-24時	0-6時	6-12時	12-18時	18-24時	
		昼過ぎ	夕方	夜の はじめ頃	夜遅く	未明	明け方	朝	昼前	昼過ぎ	夕方	夜の はじめ頃	夜遅く					
強風域・暴風域・最接近																		
西部	大雨(土砂)																	
	大雨(浸水) (ミリ)	5	5	5	0	0	1	5	10	10	10	30	40					
	暴風 (メートル)	陸上	6 ⇐	8 ⇐	10 ⇐	10 ⇐	10 ⇐	12 ⇐	15 ⇐	17 ⇐	18 ⇐	18 ⇐	20 ⇐	20 ⇐				
		日本海側海上	10 ⇐	10 ⇐	15 ⇐	15 ⇐	15 ⇐	15 ⇐	17 ⇐	18 ⇐	20 ⇐	23 ⇐	23 ⇐	25 ⇐				
		瀬戸内側海上	10 ⇐	13 ⇐	15 ⇐	15 ⇐	15 ⇐	15 ⇐	17 ⇐	18 ⇐	20 ⇐	20 ⇐	23 ⇐	25 ⇐				
	波浪 (メートル)	日本海側	1.5	1.5	2	2	2.5	2.5	2.5	3	3	4	5	6				
		瀬戸内側	1	1	1	1.5	1.5	1.5	2	2.5	3	3	3	4				
高潮 (メートル)																		
中部	大雨(土砂)																	
	大雨(浸水) (ミリ)	5	5	5	0	0	1	10	10	20	20	30	40					
	暴風 (メートル)	陸上	6 ⇐	8 ⇐	10 ⇐	10 ⇐	10 ⇐	10 ⇐	12 ⇐	15 ⇐	16 ⇐	17 ⇐	18 ⇐	20 ⇐				
		海上	11 ⇐	12 ⇐	15 ⇐	15 ⇐	15 ⇐	15 ⇐	17 ⇐	18 ⇐	20 ⇐	20 ⇐	23 ⇐	23 ⇐				
	波浪 (メートル)	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	2	2.5	2.5	3	3	4	4					
	高潮 (メートル)																	
	東部	大雨(土砂)																
大雨(浸水) (ミリ)		5	5	5	0	0	5	10	10	20	20	30	40					
暴風 (メートル)		陸上	6 ⇐	8 ⇐	10 ⇐	10 ⇐	10 ⇐	10 ⇐	12 ⇐	15 ⇐	16 ⇐	17 ⇐	18 ⇐	20 ⇐				
		海上	11 ⇐	12 ⇐	15 ⇐	15 ⇐	15 ⇐	15 ⇐	17 ⇐	18 ⇐	20 ⇐	20 ⇐	23 ⇐	23 ⇐				
波浪 (メートル)		1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	2	2.5	2.5	3	3	4	4					
高潮 (メートル)																		
北部		大雨(土砂)																
	大雨(浸水) (ミリ)	5	5	5	0	0	0	5	5	5	10	30	30					
	暴風 (メートル)	陸上	6 ⇐	8 ⇐	10 ⇐	10 ⇐	10 ⇐	10 ⇐	12 ⇐	15 ⇐	16 ⇐	17 ⇐	18 ⇐	20 ⇐				
		海上	10 ⇐	10 ⇐	12 ⇐	15 ⇐	15 ⇐	15 ⇐	17 ⇐	18 ⇐	20 ⇐	20 ⇐	23 ⇐	23 ⇐				
	波浪 (メートル)	1.5	1.5	1.5	2	2.5	2.5	2.5	3	3	4	5	6					
	高潮 (メートル)																	

■ 警報級 ■ 注意報級

- 1時間降水量 17日 5ミリ 18日 40ミリ
- 24時間降水量 (17日12時~18日12時) 50ミリ
- 24時間降水量 (18日12時~19日12時) 200~300ミリ

- 風 17日 陸上 10メートル 海上 15メートル 18日 陸上 20メートル 海上 25メートル

- 波 17日 2メートル 18日 6メートル

- 19日の予想 (最大) 最大風速 25メートル~45メートル 最大波 4メートル~6メートル



Japan
Meteorological
Agency

【大型で猛烈な台風第14号は、特別警報級の勢力で九州を北上したのち、次第に東よりに進路を変え、19日は西日本付近を横断する見込み。中国地方には19日昼過ぎから夜遅くに最も接近する見込みで、中国地方に上陸して横断する可能性があります。】

- 中国地方では、台風の北上と共に台風周辺の暖かく湿った空気が流れ込み、台風接近前から発達した雨雲が流れ込む見込み。また、**台風最接近時には台風本体の発達した雨雲がかかって雨が強まり、かつ台風の進行速度が比較的遅いことにより雨が長時間降り続き、19日を中心に警報級の大雨となる見込み。土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水や氾濫に警戒。**
- 中国地方では、19日は暴風域に入って猛烈な風が吹き、日本海側では大しけとなる見込み。**暴風に厳重に警戒**、高波に警戒。
- 中国地方では、19日は台風接近による影響で潮位が高くなり、高潮の発生するおそれがある。満潮時刻を中心に高潮に十分注意。
- 18日から19日頃にかけて、落雷や竜巻などの激しい突風に注意。発達した積乱雲の近づく兆しがある場合には、建物内に移動するなど安全確保に留意。
- 気象台等が発表する地域に応じた詳細な情報を確認するとともに、自分の命、大切な人の命を守るために、地元自治体が発令する避難指示（警戒レベル4）等に従って早め早めに身の安全を確保してください。

※気象台が発表する警報、注意報、気象情報のほか、台風の進路予想や土砂災害、浸水害、洪水害のキキクル(危険度分布)を「気象台ホームページ」等で適宜ご確認ください。お住まいの場所が安全な場所か否かハザードマップなどで改めて確認し、安全ならば自宅内での安全確保を、危険な場合は指定された避難場所への移動のほか、安全な親戚・知人宅等への移動も考えてください。新型コロナウイルス感染の懸念もありますが、危険な場所にいる人は自宅の外への避難をためらわないでください。

関連資料の掲載場所

今後の予想を含めた最新の情報は、以下からご利用ください。

- 気象警報・注意報（大雨、洪水、暴風（雪）、波浪、高潮、大雪などによる災害への警戒・注意を呼びかける）
<https://www.jma.go.jp/jp/warn/>
- 危険度分布（どこで土砂災害、浸水害、洪水の危険度が高まると予測されているかを地図上で表示）
 - 土砂災害 <https://www.jma.go.jp/jp/doshamesh/>
 - 浸水害 <https://www.jma.go.jp/jp/suigaimesh/inund.html>
 - 洪水 <https://www.jma.go.jp/jp/suigaimesh/flood.html>
- 各地の気象情報（気象概況や大雨の見通し）
<https://www.jma.go.jp/jp/kishojoho/>
- 台風情報（台風の位置・強さ・速度などの解析・予報、大雨や暴風の見通し）
<https://www.jma.go.jp/jp/typh/>
https://www.jma.go.jp/jp/typh/typh_text.html
- 指定河川洪水予報（国や都道府県の管理する主な河川の氾濫の危険度を予測）
<https://www.jma.go.jp/jp/flood/>
- 土砂災害警戒情報（命に危険が及ぶ土砂災害の発生が切迫したときに厳重な警戒を呼びかける）
<https://www.jma.go.jp/jp/dosha/>
- 最新の気象データ（雨雲の動き（レーダー・ナウキャスト（降水・雷・竜巻））、今後の雨、雨や風の観測データ、衛星画像）
<https://www.jma.go.jp/jp/radnowc/>
<https://www.jma.go.jp/jp/kaikotan/>
https://www.data.jma.go.jp/obd/stats/data/mdrr/pre_rct/index24_rct.html
https://www.data.jma.go.jp/obd/stats/data/mdrr/wind_rct/index_mxwsp.html
<https://www.jma.go.jp/jp/gms/>
- 14か国語による防災気象情報の提供
<https://www.jma.go.jp/jma/kokusai/multi.html>
- 避難行動判定フロー・避難情報のポイント（内閣府（防災担当））
https://www.bousai.go.jp/oukyu/hinanjouhou/r3_hinanjouhou_guideline/pdf/flow.pdf
http://www.bousai.go.jp/oukyu/hinanjouhou/r3_hinanjouhou_guideline/pdf/point.pdf
- 新型コロナウイルス感染症が収束しない中での避難について（内閣府（防災担当）・消防庁）
<http://www.bousai.go.jp/pdf/colonapoint.pdf>



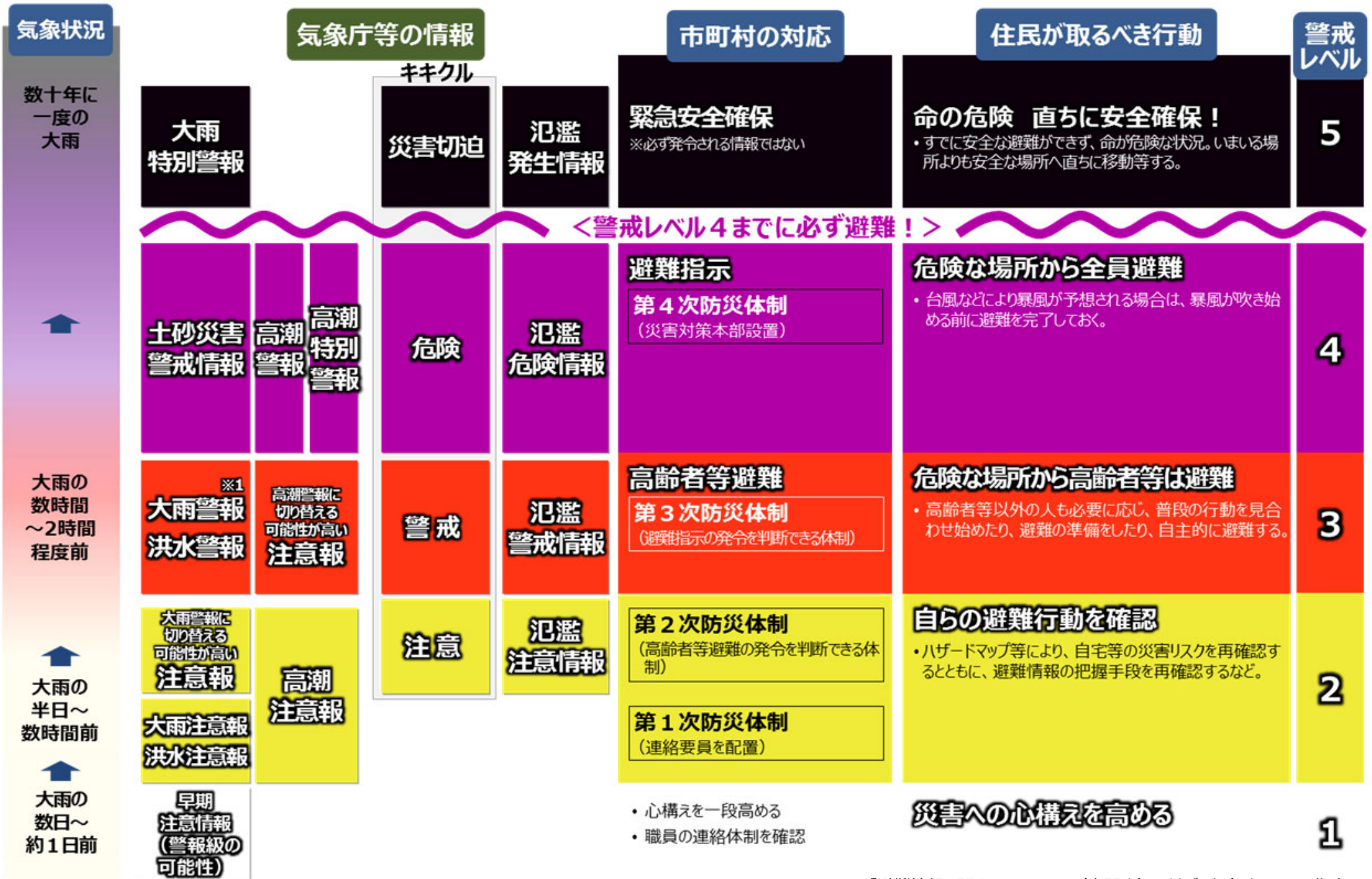
気象庁HPのバナーをご利用ください。



[@JMA_bousai](https://twitter.com/JMA_bousai)

気象庁公式の防災情報アカウントを開設しました。台風接近や大雨のおそれがある場合等に、現況や今後の見通し、防災上の留意点、緊急会見の内容等を解説します。

防災気象情報とその効果的な利用



※1 夜間～翌日早朝に大雨警報(土砂災害)に切り替える可能性が高い注意報は、警戒レベル3 (高齢者等避難) に相当します。

以下 補足資料





暴風による災害への備え





- 暴風が実際に吹き始めてからでは、屋外での行動は命に危険が及びます。
- 特に土砂災害や洪水、高潮のおそれがある区域では、風雨が強まる前の早めのタイミングで対応をとることが重要です。
- 風雨が強まるタイミングは、市町村毎に発表される警報・注意報で確認することができます。

〇〇市		〇日					〇日				備考・関連する現象
		09-12	12-15	15-18	18-21	21-24	00-03	03-06	06-09	09-12	
強風	陸上	10	10	10	12	12	15	20	20	20	以後も警報級
	海上	15	15	15	18	18	18	20	25	25	以後も警報級

▲
暴風警報に切り替える可能性が高い強風注意報

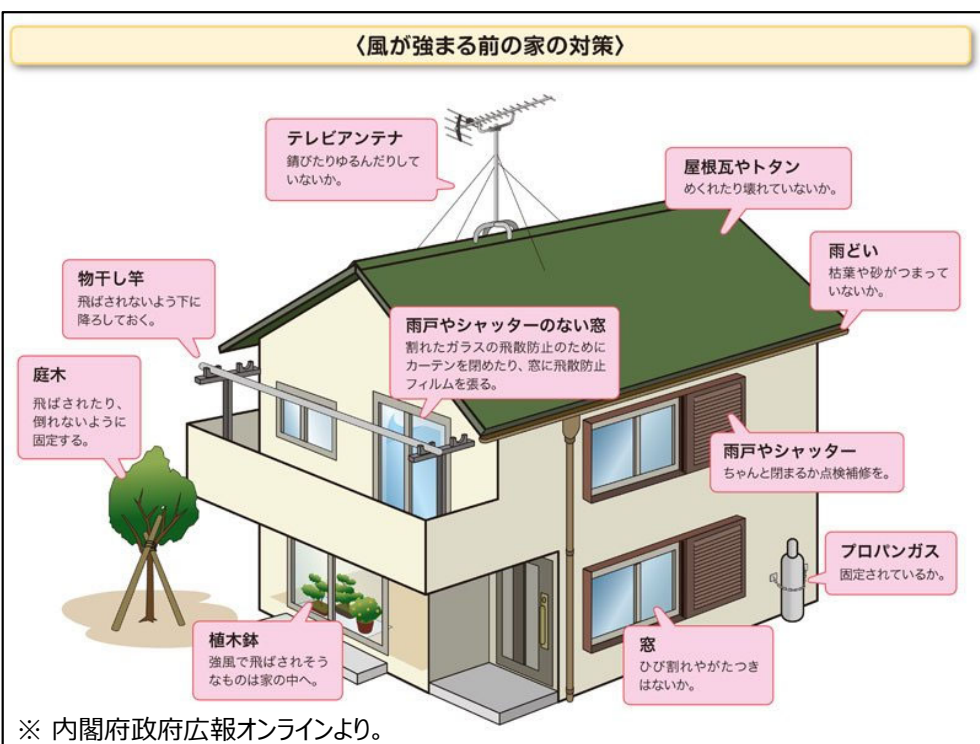
▲
明け方から警報級の危険度

平均風速 (m/s) およその時速	人への影響 走行中の車	屋外・樹木の様子	建造物	およその瞬間風速 (m/s)
20~25 ~約90km/h	何かにつかまっていられないと立っていられない。飛来物によって負傷するおそれがある。 	細い木の幹が折れたり、根の張っていない木が倒れ始める。看板が落下・飛散する。道路標識が倒れる。 	屋根瓦・屋根葺材が飛散するものがある。固定されていないプレハブ小屋が移動、転倒する。 	30
25~30 ~約110km/h			養生の不十分な仮設足場が崩落する。 	40
30~35 ~約125km/h				

35~40 ~約140km/h	走行中のトラックが横転する。 	多くの樹木が倒れる。電柱や街灯で倒れるものがある。ブロック壁で倒壊するものがある。 	外装材が広範囲にわたって飛散する。 	50
40~ 約140km/h~			住家で倒壊するものがある。鉄骨構造物で変形するものがある。 	60

※ 平均風速は10分間の平均、瞬間風速は3秒間の平均です。
 ※ 人や物への影響は日本風工学会の「瞬間風速と人や街の様子との関係」を参考に作成しています。
 ※ 詳細は気象庁ホームページを御確認ください。(https://www.jma.go.jp/jma/kishou/books/amekaze/amekaze_index.html)

〈風が強まる前の家の対策〉



- テレビアンテナ: 錆びたりゆんだりしていませんか。
- 屋根瓦やトタン: めくれたり壊れていませんか。
- 雨どい: 枯葉や砂がつかまっていませんか。
- 雨戸やシャッターのない窓: 割れたガラスの飛散防止のためにカーテンを閉めたり、窓に飛散防止フィルムを張る。
- 雨戸やシャッター: ちゃんと閉まるか点検補修を。
- プロパンガス: 固定されているか。
- 窓: ひび割れやたつきはないか。
- 庭木: 強風で飛ばされそうなものは家の中へ。
- 物干し竿: 飛ばされないよう下に降ろしておく。
- 庭木: 飛ばされたり、倒れないように固定する。

※ 内閣府政府広報オンラインより。

台風接近に伴う合同記者会見 説明資料

令和4年9月17日

国土交通省 中国地方整備局

【河川の氾濫】

大雨による河川の氾濫の危険性があります。国が管理する大河川だけでなく、大河川に流入する支川や中小河川の氾濫にも注意が必要です。台風から離れた地域でも警戒が必要です。

【高潮】

高潮と河川の増水が重なると、河口に近いところでは氾濫発生危険性が更に高まります。

【低い土地の浸水】

大雨により水路や排水溝などから水があふれ、低い土地での浸水の危険性があります。

【土砂災害】

大雨による土砂災害(土石流、地すべり、崖崩れ)の危険性があります。これまでの雨により地盤が水を含んでいる地域では、より一層の警戒が必要です。

- 市町村が作成しているハザードマップなどを確認し、浸水の可能性や避難する場所・経路などを把握するとともに、避難への備えを行ってください。
- 気象・河川の情報や市町村が発表する避難情報（避難指示など）に留意し、早めの行動を心がけてください。
- 河川氾濫の恐れがある場合などに、暗くなってからの移動は危険を伴う場合があるため、明るいうちに安全なところへ避難するなど、早めに身の安全を確保してください。
- 避難先は市町村が指定する避難場所・避難所に限らず、安全な場所にある親戚・知人宅などでも構いません。
- 増水時に川の様子を見に行くことは極めて危険です。川に近づかないようにして下さい。

- ハザードマップは、市町村のウェブページや「**ハザードマップ・ポータルサイト**」(国土交通省)などで確認することができます。
- ウェブページ「**川の防災情報**」(国土交通省)では、次の情報を確認することができます。
 - ・レーダ雨量(雨の状況)
 - ・川の水位情報
 - ・河川カメラの映像
 - ・浸水の危険性が高まっている河川
 - ・洪水予報等発表河川
 - ・ダム放流通知
 - ・水害リスクライン(国管理河川の洪水の危険度分布)
- 「**キキクル(危険度分布)**」(気象庁)では、土砂災害、浸水害、洪水害の危険度を確認することができます。

ハザードマップポータルサイト

～身のまわりの災害リスクを調べる～

使い方

利用規約

問い合わせ

関連情報

重ねるハザードマップ

～災害リスク情報などを地図に重ねて表示～

洪水・土砂災害・高潮・津波のリスク情報、道路防災情報、土地の特徴・成り立ちなどを地図や写真に自由に重ねて表示できます。

地図を見る

場所を入力

例：茨城県つくば市北郷1 / 国土地理院

表示する情報を選ぶ



洪水(想定最大規模)



土砂災害



高潮(想定最大規模)



津波(想定最大規模)



道路防災情報



地形分類

過去の代表的な災害事例をみる

わがまちハザードマップ

～地域のハザードマップを入手する～

各市町村が作成したハザードマップへリンクします。地域ごとの様々な種類のハザードマップを閲覧できます。

地図で選ぶ

まちを選ぶ

都道府県

市区町村



ハザードマップポータルサイト <https://disaportal.gsi.go.jp/>

ハザードマップ

検索



【安全確保・避難のタイミング】

●公的機関からの避難情報

公的機関からの避難情報には十分注意し、避難情報が発令された場合は速やかに指示に従うようにお願いします。

●最新の災害情報の入手

状況は刻々と変化します。テレビ・ラジオなどで気象情報に注意し、最新の災害情報の入手をお願いします。

●早め早めの対応を

早め早めの準備が重要です。非常持出品の点検や家の周りの鉢植えなどの取り込み・固定、携帯電話やスマートフォンの充電など事前の準備が重要です。

●避難時の心構え

あわてず、単独行動は避けてください。危険を感じたときは、近隣住民と声を掛け合い、複数で避難をすることをお願いします。

全国 北海道 東北 関東 北陸 中部 近畿 **中国** 四国 九州 沖縄 未登録

地点登録

新着情報

「中国」をクリック

中国の状況

その他の情報

浸水の危険性が高まっている河川

浸水の危険性が高まっている河川

レーダ雨量 (XRAIN)

レーダ雨量 (雨の状況)

気象警報・注意報、土砂災害警戒情報

気象警報・注意報、土砂災害警戒情報

河川カメラ

河川カメラ映像

川の水位情報

川の水位情報
・河川水位
・河川カメラ映像

洪水予報、水位到達情報

洪水予報の発表地域

ダム放流通知

ダムの放流通知

洪水キキクル (危険度分布)

洪水キキクル (気象庁)
・洪水の危険度

土砂キキクル (危険度分布)

土砂キキクル (気象庁)
・土砂災害の危険度

水害リスクライン

水害リスクライン (国管理河川の洪水の危険度分布)

○洪水予報や河川の水位等は「川の防災情報」で確認できる。サイトは「川の防災情報」で検索できる (<http://www.river.go.jp/>)。※スマートフォンは <http://www.river.go.jp/s/>。

台風の接近の前から 要注意！！

- **台風の接近に伴い、洪水に備えるため、ダムの水位を下げるための事前放流を行なう場合があります。**
- **雨が降っていないなくても、河川の水位が上昇したり、流量が増加する場合がありますので、サイレンによる警報等に留意してください。**

ダムの状況

9月17日
11時時点の資料

事前放流を実施15ダム(うち直轄ダム1、県管理ダム7、利水ダム7)

級別	水系名	河川名	ダム名	所在県
1	吉井川	倉見川	黒木ダム	岡山県
1	高梁川	小阪部川	大佐	岡山県
1	高梁川	帝釈川	帝釈川ダム	広島県
1	太田川	高山川	宇賀ダム	広島県
1	小瀬川	玖島川	渡ノ瀬ダム	広島県
1	江の川	大戸川	庄原ダム	広島県
1	太田川	柴木川	柴木川ダム	広島県
1	太田川	柴木川	樽床ダム	広島県
1	芦田川	御調川	御調ダム	広島県
1	芦田川	山田川	山田川ダム	広島県
2	沼田川	棕梨川	棕梨ダム	広島県
1	佐波川	佐波川	島地川ダム	山口県
2	錦川	生見川	生見川ダム	山口県
2	有帆川	今富川	今富ダム	山口県
2	富田川	富田川	川上ダム	山口県

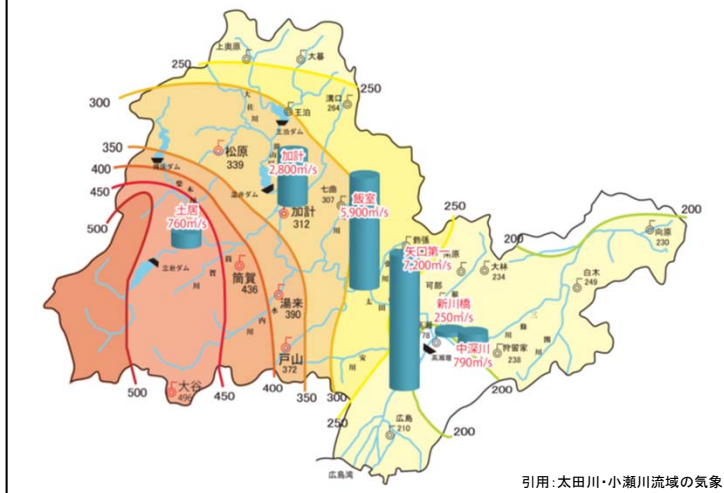
現在、事前放流を実施していないダムでも、今後の降雨の状況により、事前放流を実施する可能性があります。

**明るい時間での避難、
早めの避難行動 など**

**「命を守るための最善の行動」
をお願いします。**

被害状況(広島市・安芸太田町)

太田川流域の等雨量曲線と各地点最大流量



太田川流域平均2日雨量 240mm
矢口第一水位観測所最高水位 8.06m

被害状況

水害区域面積: 約130ha
被災家屋数: 486戸
(家屋全壊4戸、一部損壊44戸、床上浸水284戸、床下浸水154戸)



平常時



出水時



堂見橋下流側(下殿賀内地区: 61k700付近)

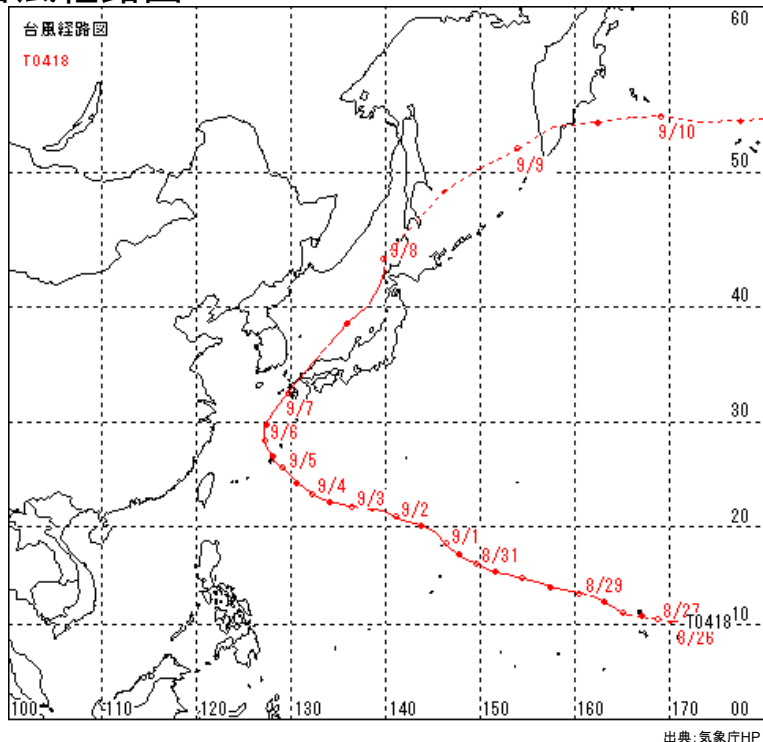


洪水痕跡(宇賀地区: 右岸36k600)



洪水痕跡(今井田地区: 左岸23k200)

台風経路図



台風上陸時の勢力

(9/7 9:30頃 長崎県長崎市付近)

中心気圧 945hPa

中心付近の最大風速 40m/s

出典 平成16年台風第18号による9月4日から8日にかけての暴風と大雨(気象庁)

浸水状況図(広島市)



江波潮位観測所最高潮位T.P2.96m

被害(広島県内)※1

死者 5名
負傷者 139名

床上浸水 1,145戸
床下浸水 3,680戸

※1 出典 平成16年(2004年)台風第18号に関する広島県内の気象速報(広島地方気象台)

被害状況(広島市沿岸部)

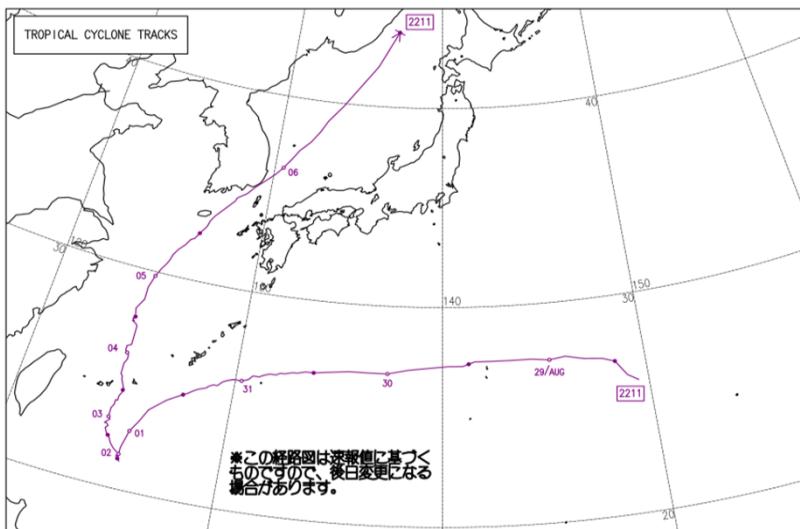


① 広島市南区出島地先



② 広島市西区観音新町地先

台風経路図【令和4年9月台風第11号】



出典: 気象庁HP

台風接近時の勢力

(9/5 21:00頃)

中心気圧 950hPa

中心付近の最大風速 40m/s

出典 台風位置表「2022年台風第11号 HINNAMNOR (2211)」(気象庁)

状況図(中海)

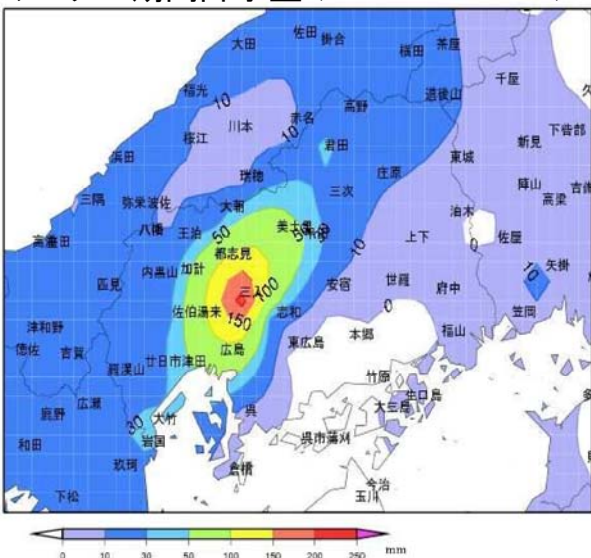


※浸水面積精査中

平成26年8月豪雨・平成30年7月豪雨（土砂災害）

平成26年8月豪雨

アメダス期間降水量 (8/19 11:00~8/20 9:00)



8/20広島市における

土砂災害発生件数：166件

- ・土石流：107件
- ・がけ崩れ：59件

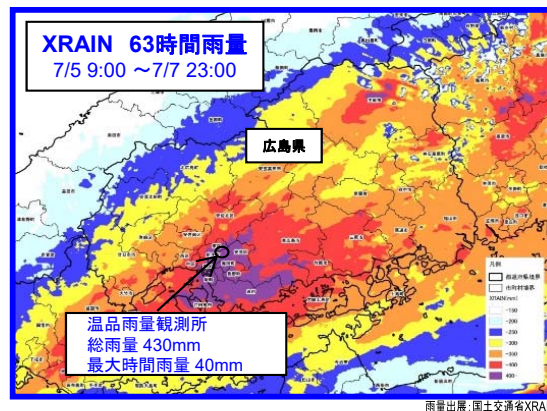
被害状況

- ・死者：17名
 - ・行方不明者：5名
 - ・負傷者：21名
 - ・住家全壊：43棟
 - ・住家半壊：91棟
 - ・一部損壊：219棟
 - ・床上浸水：1,844棟
 - ・床下浸水：6,086棟
- (消防白書より)

広島市の土砂災害写真



平成30年7月豪雨



台風第14号に伴う対応について

令和4年9月17日

中国地方整備局 道路部



国土を**整**え、全力で**備**える
国土交通省
中国地方整備局

【路面冠水(大雨・越波)】

- ・大雨や越波により、道路が冠水する危険性があります。

【斜面・法面崩壊、土砂流入】

- ・大雨により、道路に近接する自然斜面や道路の法面が崩壊する危険性があります。また、自然斜面から道路に土砂が流入する危険性があります。

【倒木や電柱の倒壊】

- ・暴風によって倒木や電柱の倒壊が発生、道路が塞がれ通行出来ない事があります。

【事前通行規制】

- ・暴風・越波・大雨により、道路を安全に通行することが困難な場合、災害が発生する前に通行規制を行うことがあります。

(参考)想定される影響



大雨による冠水 国道2号 広島市安芸郡海田町
令和3年7月8日



越波による冠水 国道9号 山口県下関市長府外浦町
令和3年9月17日



大雨による法面崩落 松江道 広島県庄原市高野町
令和3年7月12日



暴風による倒木 国道29号 鳥取県八頭郡若狭町落折
平成29年10月23日

※不要不急の外出は控えるようお願いします。

(参考)風の強さと吹き方

平均風速 (m/s) およその時速	風の強さ (予報用語)	速さの目安	人への影響	屋外・樹木の様子	走行中の車	建造物	およその 瞬間風速(m/s)
10~15 ~約50km/h	やや強い風	一般道路の自動車	風に向かって歩きにくくなる。傘がさせない。 	樹木全体が揺れ始める。電線が揺れ始める。 	道路の吹流しの角度が水平になり、高速運転中では横風に流される感覚を受ける。 	樋(とい)が揺れ始める。 	20
15~20 ~約70km/h	強い風	高速道路の自動車	風に向かって歩けなくなり、転倒する人も出る。高所での作業はきわめて危険。 	電線が鳴り始める。看板やトタン板が外れ始める。 	高速運転中では、横風に流される感覚が大きくなる。 	屋根瓦・屋根葺材がはがれるものがある。雨戸やシャッターが揺れる。 	
20~25 ~約90km/h	非常に強い風		何かにつかまっていなくて立ってられない。飛来物によって負傷するおそれがある。 	細い木の幹が折れたり、根の張っていない木が倒れ始める。看板が落下・飛散する。道路標識が傾く。 	通常で運転するのが困難になる。 	屋根瓦・屋根葺材が飛散するものがある。固定されていないプレハブ小屋が移動、転倒する。ビニールハウスのフィルム(被覆材)が広範囲に破れる。 	40
25~30 ~約110km/h		屋外での行動は極めて危険。 	多くの樹木が倒れる。電柱や街灯で倒れるものがある。ブロック壁で倒壊するものがある。 	走行中のトラックが横転する。 	固定の不十分な金属屋根の葺材がめくれる。養生の不十分な仮設足場が崩落する。 	50	
30~35 ~約125km/h	猛烈な風	特急電車	屋外での行動は極めて危険。 	多くの樹木が倒れる。電柱や街灯で倒れるものがある。ブロック壁で倒壊するものがある。 	走行中のトラックが横転する。 		外葺材が広範囲にわたって飛散し、下地材が露出するものがある。 
35~40 ~約140km/h						住家で倒壊するものがある。鉄骨構造物で変形するものがある。 	
40~ 約140km/h~							

出展先：気象庁HP リーフレット
「雨と風（雨と風の階級表）」
https://www.jma.go.jp/jma/kishou/books/amekaze/amekaze_index.html

より抜粋

台風第14号の影響で、大雨による路面冠水や土砂流出などの災害発生の恐れや暴風に伴う倒木や電柱の倒壊、越波による道路への影響によって、今後道路の通行止めを行う場合があります。

台風第14号に伴う影響が予想されることから、不要不急の外出を控えていただきますようお願いいたします。

■最新の道路情報

最新の道路情報を以下のホームページ等にてご確認ください。

◆中国地方整備局

道路情報提供システム

<http://www.road.cgr.mlit.go.jp/road/frame.htm>

◆NEXCO西日本

◎NEXCO西日本WEBサイト <https://www.w-nexco.co.jp/>

◎ハイウェイ交通情報 アイハイウェイ <https://ihighway.jp/pcsite/>

◆本四高速

https://www.jb-honshi.co.jp/customer_index/

◆日本道路交通情報センター(JARTIC)

<https://www.jartic.or.jp/>

台風第14号接近に伴う対応について

中国地方整備局 港湾空港部

台風接近により想定される被害

【強風】

海沿いにおいては、強風の影響を強く受け、物や建物が、飛来・崩壊する恐れがあります。

【波浪】

台風第14号の接近に伴い、海上が荒れることが予測されるので、付近の航行または停泊している船舶については、走錨・転覆等の恐れがあります。

また、海沿いにおいては、波浪による影響を直接受ける場合があります。

【高潮】

台風第14号の接近に伴い、高潮が発生し、沿岸域付近の住居への浸水や道路が冠水する恐れがあります。

安全確保に関するお願い

- 台風の影響はとても広範囲です。退避を検討している船舶は、海上保安部から発表される港外避難勧告等に留意し、早めの退避行動を心がけてください。
また、係留する船舶についても、固縛をしっかりと行うなど、早めに対策を講じてください。
- 台風の接近時に、海沿いに近づくことは、大変危険な行為ですので、近づかないようにして下さい。

沿岸部における強風被害

- ◆ 2022年(令和4年)台風第11号による強風被害
台風第11号に伴う強風により、広島市沿岸部の臨港道路において、街路灯が倒れる被害が発生。



(参考)広島港臨海部における過去の高潮被害



国土を整え、全力で備える
国土交通省
中国地方整備局
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism
Chugoku Regional Development Bureau

◆2004年(平成16年)台風第18号による被害状況

2004年(平成16年)の台風第18号では、高潮による浸水に加え、護岸の倒壊等もあり、浸水被害が拡大。



被災前 (吉島地区)



被災後 (吉島地区)



被災前 (江波地区)



被災後 (江波地区)



被災前 (観音地区)



被災後 (観音地区)

(参考)中国地方における台風進路と被災状況



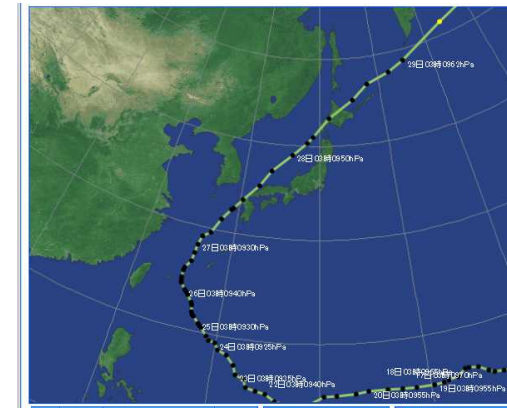
国土を整え、全力で備える
国土交通省
中国地方整備局
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism
Chugoku Regional Development Bureau

中国地方へ大きな被災をもたらす
台風の進路は、九州に上陸して山
口県に再上陸する進路に注意



1951年10月9日～16日 ルース台風

台風の影響で九州・四国・中国地方の所々で大雨となり、河川の氾濫や土砂災害などが相次ぎ、山口県では400人を超える死者・行方不明者が、広島県では166人の死者・行方不明者が出た。



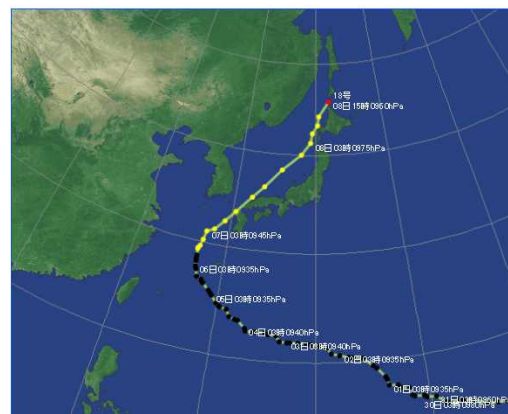
1991年9月16日～28日 台風第19号(りんご台風)

26日に宮古島の東海上で北東寄りに進路を変え、27日に長崎県佐世保市付近に上陸。山口県をかすめた後に加速しながら日本海を進み、翌朝に北海道に再上陸した。
※重要文化財厳島神社の能舞台が倒壊



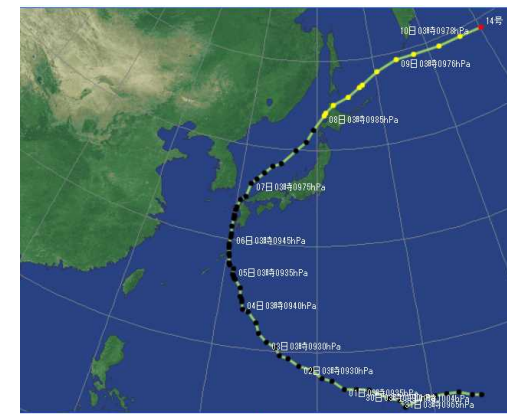
1999年9月19日～25日 台風第18号

中心気圧950hPa・最大風速40m/sという強い勢力を保ち、大分県を縦断した後、中津市付近から周防灘へと進み、最初の上陸からわずか3時間後には対岸の山口県宇部市付近に再上陸し、速い速度で山陰沖の日本海に抜けた。※山口宇部空港が浸水



2004年8月28日～9月8日 台風第18号

7日9時半頃に強い勢力で長崎県長崎市付近に上陸し九州地方北部を横断した。7日午後には山陰沖に達し、速度を速めながら日本海を北東に進んだ。広島市で最大瞬間風速60.2m/s観測した。
※広島港海岸が被災



2005年8月29日～9月8日 台風第14号

6日14時過ぎに長崎県諫早市付近に上陸した。中心気圧945hPa・中心付近の最大風速40m/sの「大型で強い勢力」で上陸。台風は、佐賀県・福岡県・山口県を経て、13時には日本海に抜け、速いスピードで移動・北上した。
※草津漁港に大量の流木やゴミが漂着